

安達太良山行報告

【山城】奥羽山脈南部 安達太良山

【日程と天気】2019年10月9日（水）快晴

【メンバー】CL 鈴木憲、SL 村尾、澤田路、下築、高地、清野、鈴木愛、高山（記録）

【行程】塩沢コース日帰りハイキング



- 出発時刻／高度：09:00 / 790m
- 到着時刻／高度：16:20 / 790m
- 合計時間：7時間20分
- 合計距離：12.56km
- 最高点の標高：1669m
- 最低点の標高：790m
- 累積標高（上り）：1054m
- 累積標高（下り）：1054m

S	スタート地点	09:06	09:17	馬返し分岐	09:17	10:01	三階滝	10:02	10:05	相恋の滝	10:06
10:14	屏風岩	10:18	10:20	相恋の滝	10:20	10:28	八幡滝	10:30	10:37	天狗岩	10:38
11:22	塩沢分岐	11:24	11:29	くろがね小屋	11:45	12:14	峰の辻	12:22	12:36	峰ノ辻分岐	12:36
12:52	安達太良山	13:00	13:36	峰の辻	13:36	14:02	くろがね小屋	14:11	14:20	塩沢分岐	14:22
15:03	天狗岩	15:03	15:09	八幡滝	15:09	15:13	相恋の滝	15:23	15:26	三階滝	15:26
16:02	馬返し分岐	16:02	16:19	塩沢登山口	G						

【内容記録】

安達太良山の紅葉美を目当てに、10月平日山行が9日日帰りで快晴のもと行ってきたのでここに報告する。早朝、総勢8名がリーダーSさん、サブリーダーMさんの車2台に分乗して京葉・外環・東北道と、8時半頃塩沢コースの登山口Pに到着、9時には登山開始。平日でしかも最もポピュラーなコースでないからか、塩沢スキー場の駐車場がガラガラで我々を含めて計車3台のみ。

さあ、いざ出発！どんなことが待ち構えているのだろうか？



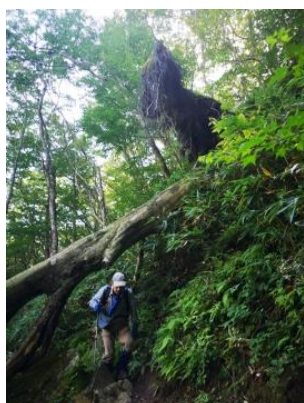
塩沢スキー場 P からスタート



爽やかな朝

バリエーションに富んだ溪流美

台風 19 号過ぎた後の早朝の眩しい日差し、そしてスキー場周辺のキラキラした緑、まさに爽快感が溢れるスタート。広葉樹の森をしばらく歩くと、沢の水流の音が近くなり、溪流沿いの登山道を緩やかに上昇していく。



屏風岩で一回休憩を入れて、溪流を渡渉して左岸右岸を行き来しながら標高を稼いでいく。



スリル感を味わう鎖場



“証拠写真”を残した八幡滝

登るにつれて色のグラデーションが生じ、緑から黄緑そして、オレンジや赤に色づく葉っぱが目立つようになっていった。



天狗岩を過ぎて、さらに沢沿いのコースを行くと、天狗の庭というところで奥岳登山口からの登山道と出会う。ここからはあと数分で本格温泉で有名なくろがね小屋、そしてそのバックに鉄山の山肌に錦の紅葉が見事に展開していく。



色づき真っ盛り（一歩手前？）な紅葉に感動！

紅葉に彩られた山容を鑑賞しながら、くろがね小屋の近辺で2回目の休憩(11:30~11:45)。メンバーの皆さんが写真を撮ったり、行動食でスタミナを補給したりして、思い思いのひと時を。ここで、なんとタダで美味しいシャインマスカットを担いであげてきたメンバーが全員に配ってくださって、これは素晴らしい景色の中だけあって格別に美味だった！ 本当に最高にエンジョイさせていただきました！ありがとうございます！ありがとうございます！！本当にありがとうございます！！

くろがね小屋から峰の辻へと向かうが、これもまた見事な紅葉が手の届くように身近に登っていくわけで、思わず何度となく足を止めてシャッターを切ることになった。



牛ノ背に乗って恐怖な強風を体験、そして頂上に立つ

峰の辻で集合写真を残して、いよいよ強風で有名な牛ノ背へ向かう。ここで、事前にリーダーから注意された強風対策として用意したウィンドブレーカーを羽織る。いざ牛ノ背に立つと、しっかり足を踏ん張らないと自分が風船になってしまうような感じで、風が強かった。そんな中、強風にもめげずに沼ノ平の火山口にカメラを向けたのはメンバーの中で筆者だけだったようだ。登ってきた牛ノ背の東側の紅葉とは対照的な風景だった。



安達太良山頂に立ったのは12：50頃で、全員でハイタッチをして集合写真を撮った。



乳首で休憩、哺乳ならめ水分とエネルギー補給して下山。牛ノ背ではなく、ダイレクトに峰の辻へ。そして、またくろがね小屋と屏風岩で休憩後、16：20頃に塩沢スキー場Pに無事に帰還。



広々とした日帰り温泉スカイピアあだたらで汗を流した後、帰葉。あ疲れ様！

【後記】

「錦秋に奉げる溪流と紅葉と火山の三重奏」という副タイトルをつけさせてもらった安達太良山行記録を整理したところ、改めて安達太良山の魅力を再認識できたような気がする。安達太良山自体は初めてではないが、溪流沿いのコースは歩いたことは無かった。スキー場から始まり、鎖場あり渡渉あり、滝鑑賞と怪岩だったり、コースのバリエーションを楽しんだ後、紅葉と火山と、実に楽しめるコースだった。

何より苦勞してコース選び、ペース配分でグッドジョブだったリーダーとサブリーダーに感謝！と一緒に山行をエンジョイしたメンバーの皆さんにもありがとうと申し上げたい。どうもありがとうございました。

記録 高山